



目次

巻頭言 図書館長 古閑陽一

『国立国会図書館デジタル化資料送信サービス』

『コロナ禍でも続けた図書館イベント！2022年度』

『図書館学生スタッフ活動と21時まで開館再開』

『貸出期間延長』

『基礎セミナー等、文献検索講義演習の対面再開』

『寄託図書』

お知らせ・編集後記



## 巻頭言

図書館長 古閑陽一

特命副学長の古閑です。4月から図書館長を兼務しております。どうぞよろしくお願いいたします。8年間館長を務められた飯山先生、本当にご苦労様でした。

私にはこれといった趣味がありません。ですから趣味を聞かれると困るのですが、その際には、旅行と読書と答えるようにしています。あくまで好きというレベルです。

旅行は、家族と一緒に、出張のついでに出かけるといったレベルで、国内を中心にアジアやヨーロッパにも行きました。

読書はというと、熊本県庁に40年間いましたので、仕事柄、行政文書や法律は日々目にしていました。先生や学生の皆さんが専門書に接するのとは違い、新たな知識や発見があるというものではありませんが、文章をどう解釈するか、そういう点だけは少し長けたかもしれません。

そういう中で、多少読んでいたのが、司馬遼太郎の「翔ぶが如く」「竜馬がゆく」、吉川英治の「三国志」、城山三郎の「男子の本懐」「官僚たちの夏」などの歴史小説や経済小説です。

特に、司馬遼太郎の幕末から明治にかけて坂本龍馬や西郷隆盛が躍動した時代は胸躍らせながら読んだものです。今思うと、その時のワクワク感が公務員を目指すという職の選択のバックボーンになったのかもしれない。

旅行は、各地域を訪れる中で、様々な感動や人との出会いを提供してくれます。本も同様だと思います。人は過去には遡れませんが、歴史小説を読むことで疑似的に体験することができます。私自身にとって、旅行や本は、日常では経験できない時間や空間を与えてくれるものです。ある意味、現実からの逃避の意味合いも多少ありますが、想像力を掻き立て、ワクワクの体験を与えてくれるものです。

本学の四綱領は「知識、技術、思慮、仁愛」です。本を通して、専門的な知識、技術だけでなく、思慮深さや他者との関わりや思いやりについても気づき、学ぶことが多いと思います。

教員や学生の皆さんも、日々忙しいかと思いますが、時には少し日常から離れてみることも大事ではないかと思います。もちろん旅行もいいですが、時には、身近にある図書館を覗いてみてはいかがでしょうか。時空を超えた素晴らしい出会いや感動、そして、もしかしたら自分自身を知り、将来を決めるきっかけを与えてくれるかもしれません。

本学の図書館では、先生や学生の皆さんの期待に応えられるように、従来の紙の本に加え、電子ブックや電子ジャーナル、動画のデジタル資料まで幅広く利用できるハイブリットな図書館となっています。

これからもデジタルコンテンツの充実や、機関リポジトリ等の研究成果のオープン化等に取り組んでいきますし、様々なリクエストにできるだけお応えしながら、教職員や学生の皆さんと共にある図書館を目指していきたいと考えています。

キャラクターの「ホカボン」、そして素敵な職員たちと共に、図書館でお待ちしています。

## ◆国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのご紹介

国立国会図書館のデジタル化資料（図書、雑誌、博士論文等）のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料184万点（令和5年2月時点）を本学図書館内で閲覧できるサービスです。

利用できる資料は、『国立国会図書館デジタルコレクション』<https://dl.ndl.go.jp/>の公開範囲が「送信サービスで閲覧可能」となっているものが利用できます。「図書館送信資料」にチェックを入れて検索すると、対象資料のみが表示されます。館内限定端末1台での閲覧ですので、ご利用は事前予約制とします。利用についての詳細は、AA 掲示板をご覧ください。または、図書館までお問い合わせください。

### 【ご予約前のおすすめ】

事前にご自身のPC等で、検索してのご予約をおすすめします。

資料の検索は、インターネットを通じてご自身のパソコン等端末で行うことができます。

『国立国会図書館デジタルコレクション』<https://dl.ndl.go.jp/>で検索し、検索結果一覧や、コンテンツ閲覧画面中の「公開範囲」に「送信サービスで閲覧可能」と表示された資料を館内で閲覧できます。



## ◆コロナ禍でも続けた図書館イベント！2022年度



『サイエンスカフェ』は、異分野の研究者同士のディスカッションや相談を気軽にできる場です。皆さまの発表・ご参加をお待ちしております。

- 第22回(4/28) 医学検査学科 青木学先生 ※タイトル、概要は非公開
- 第23回(5/24) リハビリテーション学科 理学療法学専攻 土井篤先生 『学生と さるすべりにて二歩前進 時にズルリと 金峰登頂 (基礎研究の論文) 紹介と学内P&P 研究報告』
- 第24回(6/14) 医学検査学科 亀山広喜先生 『H69AR 細胞における胎盤型 cadherin (P-cadherin) の機能解析 (学内P&P 研究報告)』  
リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 井崎基博先生 『周りが変われば、自閉症は変わる 発達心理学に基づく自閉症の研究、自閉症の教育』
- 第25回(10/27) 熊本大学大学院医学教育部腎臓内科学講座(博士課程3年) 本学リハ学科 岩下研究室 研究補助員 前田曙さん 『温かな全身温熱刺激によるシスプラチン腎症の軽減効果および熱受容に対する transient receptor potential vanilloid (TRPV) チャンネルの役割』
- 第26回(12/6) 大学院臨床検査領域1年(上妻研究室) 荒尾ほほみさん 『ECMO が詰まる原因は?』

『私の部屋でランチを』2022年度 第51～第60回  
コロナ禍の『私の部屋でランチを』は、キャンパステラス会場参加者を30名に限定し、Zoomでのリアルタイム配信を加え、開催しました。

- 第51回(4/28) 木下統晴理事長 『大学入学から52年、そしてOH!120』PART V どんな時にも前向きにチャレンジ!
- 第52回(5/23) リハビリテーション学科講師 枝尾久美先生 『アスレティックトレーナー(AT)を生業(なりわい)とする』
- 第53回(6/27) 健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴さん 『私とスポーツ ～今までとこれから～』
- 第54～56回 安高 純一郎理事長特別補佐 (7/28、8/30、9/27) 『強い思いと地道な努力で夢はかなう!』-自己紹介と波乱万丈のキャリアの軌跡-
- 第57回(10/3) 助産別科 学生4名 『女性の健康管理』
- 第58回(10/27) 古閑陽一特命副学長 『県って何をやっているの?楽しいの?』
- 第59回(12/20) 本学吹奏楽部の皆さん 『クリスマスコンサート♪』
- 第60回(2/28) 図書館長(リハビリテーション学科教授) 飯山準一先生 『人生はプランB ～私の働き方改革2023～』



## ◆イベント！2023年度開始

- 『サイエンスカフェ』
- 第27回(6/19) リハビリテーション学科 理学療法学専攻 本田啓太先生 『私のバイオメカニクス研究ー保健科学とスポーツ科学の立場からー』
- 『私の部屋でランチを』
- 第61回(6/20) 共通教育センター 山鹿敏臣先生 『PCトラブルと私ーコンセントが抜けていませんか?ー』



## ◆図書館学生スタッフ活動と21時までの開館再開

学生スタッフ活動再開です。カウンターの貸出返却対応や配架整理、利用案内など、行っています。また、21時までの開館は当初7月開始予定でしたが、学生の皆さんの強い要望により、6月から開始しました。21時までの開館は、3年半ぶりの再開です。どうぞご利用ください。(※17時以降は、学内者と卒業生のみ利用可)



## ◆貸出期間1週間から2週間へ

学部生の図書貸出期間を2023年4月から2週間としました。本学の貸出の特徴として、実習関連図書の貸出が多いため、一人で専有しないよう通常の図書貸出期間は1週間としていました。しかしながら、コロナ禍での特別貸出や実習期間中の延長が多いことから2週間に変更しました。また2週間以上の長期学外実習の場合は、返却日を次の学内日までに設定しています。どうぞご利用ください。



## ◆基礎セミナー等、文献検索講義演習 対面再開

4月～5月恒例の基礎セミナーや各学科、別科への文献検索講義演習は、久しぶりに対面で行いました。オンデマンドとは異なり、対面での質問対応や文献への案内ができました。学生さんが文献検索に熱心に取り組む姿は、図書館の本来持つ姿だと改めて実感しました。オンラインでの検索閲覧利用と合わせて、目的の文献とその周辺分野の世界まで、身をもって感じられる図書館来館利用も是非ご体験ください。

## ◆寄託図書

太田原豊一博士の業績集(熊本医科大学微生物学教室同門会編纂)を、孫の太田原和輝氏より寄託されました。詳細はカウンターへお尋ねください。



## ◆お知らせ

1. 6月～8月4日の平日開館時間は、閲覧室 8:50-21:00 キャンパステラス 9:00-17:00 7月土曜は 10:00-18:00 休館日は、日・祝日。変更時は、AA等でお知らせします。
2. キャンパステラスは、5月から自由利用再開です。好みの場所で友達と勉強したり、研究についてディスカッションしたりと、自由に使ってください。ただし、動かした机椅子は現状復帰、周囲の迷惑になるような大声は出さないなど、マナーを守ってご利用ください。

○図書館専用LINEでは図書館の最新情報をお知らせします。



○編集後記  
コロナ禍では、電子ブックの利用が3倍増と活発になりました。来学がままならなかった学部生は、皆、新入生と同じ「来館初心者」ではないでしょうか。遠慮なく入館して大いにご利用ください。

©熊本保健科学大学附属図書館 2023.6.30  
URL <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library/>

